

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月13日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ソリトンシステムズ
 コード番号 3040 URL <http://www.soliton.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鎌田 信夫
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 田嶋 哲人

TEL 03-5360-3801

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	7,798	9.9	494	—	607	—	243	—
24年3月期第3四半期	7,094	1.4	△127	—	△147	—	△107	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 239百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △125百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	49.37	—
24年3月期第3四半期	△21.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
25年3月期第3四半期	8,302	—	3,978	—	47.9	806.21
24年3月期	8,328	—	3,879	—	46.4	782.65

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 3,978百万円 24年3月期 3,862百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,200	6.3	600	45.3	580	18.9	300	3.8	60.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更、会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	4,934,722 株	24年3月期	4,934,722 株
25年3月期3Q	198 株	24年3月期	119 株
25年3月期3Q	4,934,540 株	24年3月期3Q	4,934,651 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間について、世界的に経済が減速し不透明感が高かったものの、国内は、政権交代に伴う景気浮揚策への期待感より、株価が上昇し、為替も円安方向に転換したことで、明るい兆しが見えてきております。一方、企業の情報投資につき、一般的に慎重ではあるものの、新しいタイプのサイバー攻撃への対応およびスマートフォンやタブレットPC（以下、「スマートデバイス」）の業務活用の急速な普及に伴い既存情報システムの見直しの動きが出始めており、特に当社が強みをもつセキュリティ分野については需要が顕在化しつつあります。

このような環境下、当社グループの業績は、セキュリティ分野を中心に自社開発製品の販売とサービスによる売上が伸長し、売上高が7,798百万円（前年同期比9.9%増）、営業利益は494百万円（前年同期は営業損失127百万円、622百万円の損益改善）と大幅に改善いたしました。さらに、為替が円安になったことにより、複合金融商品評価益125百万円等を計上したことにより、経常利益も607百万円（前年同期は経常損失147百万円、754百万円の損益改善）と大幅に改善いたしました。以上の結果、第1四半期累計期間に特別損失として計上した貸倒引当金繰入額170百万円を吸収し、四半期純利益は243百万円（前年同期は四半期純損失107百万円、350百万円の損益改善）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

① ITセキュリティ&クラウド事業

売上高は7,483百万円（前年同期比12.9%増）、セグメント利益は800百万円（前年同期はセグメント利益150百万円、650百万円の損益改善）となりました。

スマートデバイスの普及が急速に進み、企業のネットワークに接続されるデバイスが多様化、増加する中、これらを安全かつ効率良く業務活用するためのネットワーク認証サーバー（製品名：NetAttest EPS等）や、外部からの不正アクセス被害および社内の情報漏洩等を防ぎ、本人認証を確実に行うセキュリティ製品（製品名：SmartOn等）の売上高が大きく増加いたしました。また、個人所有のスマートデバイスを高度なセキュリティを確保の上、業務でも使用可能にするアプリケーションソフト（製品名：DME）もニーズが高まっており、増収に寄与しております。

② 映像コミュニケーション事業

売上高は74百万円（前年同期比61.5%減）、セグメント損失は163百万円（前年同期はセグメント損失78百万円、85百万円の損益悪化）となりました。

3G、LTE、WiMAX等の公衆モバイル回線を使用し、リアルタイムに高品質な映像配信を可能とする「Smart-telecasterシリーズ」について、当第3四半期に在京キー局の多くで採用されるに至っております。なお、当期受注案件については、官公庁向け案件が多く、検収予定時期が第4四半期に偏っているため、前年同期比で売上高が減少しております。

③ エコ・デバイス事業

売上高は240百万円（前年同期比12.5%減）、セグメント損失は92百万円（前年同期はセグメント損失113百万円、20百万円の損益改善）となりました。

家電メーカーの業況不振等の影響で半導体製品の需要および受託開発業務が減少し、前年同期比で売上高が減少しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の連結資産残高は、前年度末比25百万円減少し、8,302百万円となりました。

流動資産は、前年度末に比べ130百万円増加し、5,936百万円となりました。これは主に売掛金が542百万円及び繰延税金資産が62百万円減少した一方、現金及び預金が640百万円及び前払費用が78百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前年度末に比べ156百万円減少し、2,365百万円となりました。これは主に有形固定資産が96百万円及び複合金融商品の評価替え等で投資有価証券が139百万円増加した一方、ソフトウェアが315百万円減少し、貸倒引当金が192百万円増加したことによるものであります。

流動負債は、前年度末に比べ108百万円減少し、3,538百万円となりました。これは主に前受収益が353百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が282百万円および賞与引当金が182百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前年度末に比べ15百万円減少し、785百万円となりました。これは主に退職給付引当金が35百万円

増加した一方、リース債務が40百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前年度末に比べ98百万円増加し、3,978百万円となりました。これは主に新株予約権が17百万円減少した一方、利益剰余金が120百万円増加したことによるものであります。

なお、当第3四半期の連結自己資本比率は47.9%（前連結会計年度末比1.5ポイント増）、1株当たり連結純資産額は806円21銭となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期連結業績予想につきましては、現時点において平成24年8月10日に公表いたしました数値より変更はありません。なお、受注状況および為替動向等に応じ、適時、開示いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社は、法人税の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,092,674	2,732,766
受取手形及び売掛金	2,193,839	1,651,111
リース投資資産	232,076	191,701
商品及び製品	535,250	488,047
仕掛品	15,794	31,104
原材料及び貯蔵品	69,468	67,697
前払費用	477,412	555,819
繰延税金資産	207,000	145,000
その他	8,161	104,310
貸倒引当金	△25,608	△30,991
流動資産合計	5,806,069	5,936,566
固定資産		
有形固定資産	244,664	341,135
無形固定資産		
のれん	10,833	—
ソフトウェア	620,718	305,148
ソフトウェア仮勘定	132,541	193,416
その他	14,673	14,673
無形固定資産合計	778,766	513,238
投資その他の資産		
投資有価証券	698,933	838,309
差入保証金	423,864	335,885
繰延税金資産	328,000	326,000
その他	105,907	261,795
貸倒引当金	△57,966	△250,477
投資その他の資産合計	1,498,739	1,511,513
固定資産合計	2,522,170	2,365,888
資産合計	8,328,240	8,302,455

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	843,036	560,223
短期借入金	500,000	500,000
未払金	247,199	204,346
リース債務	63,298	54,094
未払法人税等	61,933	110,200
前受収益	1,400,490	1,753,737
賞与引当金	320,021	138,007
役員賞与引当金	3,000	—
その他	208,361	218,112
流動負債合計	3,647,340	3,538,722
固定負債		
リース債務	182,962	142,530
退職給付引当金	607,017	642,930
その他	11,265	—
固定負債合計	801,245	785,460
負債合計	4,448,585	4,324,182
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,326,500	1,326,500
資本剰余金	1,247,627	1,247,627
利益剰余金	1,252,430	1,372,701
自己株式	△51	△87
株主資本合計	3,826,506	3,946,741
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,914	2,021
為替換算調整勘定	30,635	29,508
その他の包括利益累計額合計	35,549	31,530
新株予約権	17,598	—
純資産合計	3,879,654	3,978,272
負債純資産合計	8,328,240	8,302,455

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	7,094,180	7,798,629
売上原価	4,755,562	4,809,816
売上総利益	2,338,618	2,988,812
販売費及び一般管理費	2,466,010	2,493,871
営業利益又は営業損失(△)	△127,391	494,941
営業外収益		
受取利息	495	332
受取配当金	820	48
通貨オプション評価益	—	26,683
複合金融商品評価益	6,150	125,250
持分法による投資利益	414	769
貸倒引当金戻入額	17,171	—
その他	6,324	2,837
営業外収益合計	31,376	155,921
営業外費用		
支払利息	4,044	2,692
通貨オプション評価損	8,606	—
為替差損	30,370	13,031
貸倒引当金繰入額	—	22,510
その他	8,148	5,596
営業外費用合計	51,170	43,830
経常利益又は経常損失(△)	△147,185	607,032
特別利益		
投資有価証券売却益	39,664	400
新株予約権戻入益	5,141	17,598
特別利益合計	44,805	17,998
特別損失		
投資有価証券評価損	20,443	12,759
減損損失	—	8,333
貸倒引当金繰入額	—	170,000
災害義援金	50,000	—
特別損失合計	70,443	191,092
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△172,823	433,938
法人税、住民税及び事業税	7,452	126,302
法人税等調整額	△73,000	64,000
法人税等合計	△65,547	190,302
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△107,276	243,636
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△107,276	243,636

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	△107,276	243,636
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19,052	△2,892
為替換算調整勘定	1,390	△1,109
持分法適用会社に対する持分相当額	△527	△16
その他の包括利益合計	△18,189	△4,018
四半期包括利益	△125,466	239,617
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△125,466	239,617
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	I Tセキュリティ &クラウド	映像コミュニケー ション	エコ・デバイス	
売上高				
外部顧客への売上高	6,626,828	192,203	275,148	7,094,180
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	6,626,828	192,203	275,148	7,094,180
セグメント利益又は 損失(△)	150,078	△78,491	△113,321	△41,734

2. 報告セグメントの損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△41,734
全社費用(注)	△85,657
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△127,391

(注) 全社費用は、主に報告セグメントが負担する関連部門費の配賦差額であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	I Tセキュリティ &クラウド	映像コミュニケーション	エコ・デバイス	
売上高				
外部顧客への売上高	7,483,908	74,083	240,638	7,798,629
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	7,483,908	74,083	240,638	7,798,629
セグメント利益又は 損失(△)	800,679	△163,580	△92,835	544,263

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	544,263
全社費用(注)	△49,322
四半期連結損益計算書の営業利益	494,941

(注) 全社費用は、主に報告セグメントが負担する関連部門費の配賦差額であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、社内リソースの有効活用を目的とした会社組織の変更に伴い、報告セグメントを従来の「I Tセキュリティ」、「I Tインテグレーション」、「映像コミュニケーション」及び「エコ・デバイス」の4区分から、「I Tセキュリティ&クラウド」、「映像コミュニケーション」及び「エコ・デバイス」の3区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。